



Shuji Terayama
90th Special Exhibition

Shuji Terayama vs.
Baron Yoshimoto
Original Geisha Art
"Ah, Wilderness"

寺山修司原作・バロン吉元劇画

あゝ荒野

原画展

寺山修司記念館エキジビットホール

Round 1

2025.

7.18 fri

11.24 mon

public holiday

9:00~17:00

(入館は16:30まで)

月曜休館

(祝日の場合は翌日)

※8月4日(月)、12(火)開館

※11月25日(火)~1月3日(土)臨時休館

Round 2

2026.

1.4 sun

5.31 sun

入館料 一般個人 550円 一般団体 440円(20名以上) 高大生 110円 小中生 60円

※土曜日は中学生以下無料

※障がい者手帳提示の場合、本人と介護者1名は全額免除

お問合せ 三沢市寺山修司記念館

tel.0176-59-3434 青森県三沢市大字三沢字湊代平116-2955
http://www.terayamaworld.com/museum



寺山修司
生誕90年記念

寺山修司原作・パロン吉元劇画



寺山修司生誕90年
記念認定事業



あゝ、荒野

原画展

Shuji Terayama 90th Special Exhibition
Shuji Terayama vs. Baron Yoshimoto
Original Gekiga Art
“Ah, Wilderness”

ゴミが風に舞う。そのひとつさえ銃弾に観えた時がある。
なんてオーバーだけど、そんな気分させる
60年代の新宿が恐ろしくも愛おしい。
『あゝ、荒野』は私の魂を
60年代に引き戻してくれた
魔界へのダイナマイトだったのだ。

パロン吉元『あゝ、荒野』あとがき



『あゝ、荒野』
寺山修司・森山大道
2005年 PARCO出版



©Shuji Terayama, Baron Yoshimoto / HERO'S

1964年3月から1年半、寺山が雑誌『現代の眼』（現代評論社）に連載した小説『あゝ、荒野』。物語の舞台は、高度経済成長期まった中で、オリンピック景気に沸く東京の街である。欧米の近代社会を発展モデルに、上下水道の整備をはじめ都市の公衆衛生向上を目指し、大規模な啓もう活動「首都美化運動」が展開されていた。寺山は、同作の連載雑誌『現代の眼』の編集者、中平卓馬とともに急激に様変わりしてゆく新宿の街をつぶさに歩き、執筆のための取材を重ねていた。そして、人いきれのする東京荒野の雑踏に、社会の周縁をさまよいながら生活する人々の姿を目の当たりにすることになる。そのひとりひとりに焦点を当て、彼らが抱える葛藤や孤独を作中に昇華してみせた。この物語は、当時のボクシングの試合のラウンド数と同じ15回にまとめられ、1966年に単行本刊行、寺山修司唯一の長編小説として読み継がれている。

漫画家パロン吉元が『あゝ、荒野』に出会ったのは10年ほど前、森山大道の200点超の写真とともに再構成されたバージョンである。それが画業66年のパロンを20年ぶりの漫画連載まで突き動かした。60年の時を経て蘇える、狂おしく愛しい新宿荒野、パロン吉元の魂の劇画道を目撃せよ!



小説『あゝ、荒野』
寺山修司
表紙写真・森山大道
1966年 現代評論社
雑誌『現代の眼』連載
(1964年3月～1965年9月)



『あゝ、荒野』(1)
寺山修司原作
パロン吉元劇画
2025年 ヒーローズ

併催企画展
エ☆ミリー吉元
漫画
マンガ原稿の
ある暮らし

関連企画

ライブペイント&トークショー!
パロン吉元 / エ☆ミリー吉元
2025年10月12日(日)、13日(月・祝) 各日とも13:30～
寺山修司記念館エキジビットホール
*詳細は記念館HP・SNSにてご確認ください。

担当学芸員による
ギャラリートーク
2025年7月27日(日)、9月14日(日)
14:30～15:30
寺山修司記念館エキジビットホール
*入館券をお求めの上、ご参加ください。

ナイトミュージアム
夜間開館 / 特別ライトアップ
2025年8月12日(火)
17:00～20:00
(最終入館19:30)



寺山修司 Shuji Terayama

1935年12月10日、青森県生まれ。18歳で短歌研究新人賞特選を受賞し、歌壇に鮮烈にデビュー。20代前半で売れっ子シナリオライターとなる。67年には劇団、演劇実験室「天井桟敷」を結成、海外で高い評価を得る。詩、俳句、短歌、戯曲、映画、競馬・スポーツエッセイ、作詞、小説、評論など、その多彩な仕事から「職業 寺山修司」と称される。83年5月4日47歳で急逝。2023年、青森県三沢市にある寺山修司記念館を中心に没後40年事業を展開、全国各地で65プロジェクトを記録した。2025年、生誕90年記念認定事業進行中。



パロン吉元 Baron Yoshimoto

1940年、旧満州出身、鹿児島県指宿市育ち。マンガ家、画家。1959年プロデビュー。劇画ブームの全盛期を築いた1人となり、代表作の『柔俠伝』シリーズ他、作品を多数発表。1980年、全ての連載を終わらせ単身渡米、マーベル・コミック等で執筆。帰国後はマンガ執筆と並行し、絵画制作に着手する。画業60年を迎えた2019年には日本漫画家協会賞文部科学大臣賞を受賞。2024年、自身にとって約20年ぶりとなるマンガ連載『あゝ、荒野』（原作:寺山修司）を「コミプレ」で連載開始。米・伊・仏では過去作の翻訳が出版されるなど、現在に至るまで国内外で活動中。

主催：三沢市寺山修司記念館 / テラヤマ・ワールド 共催：寺山修司五月会 協賛：三沢市 後援：三沢市商工会 / 一般社団法人 三沢市観光協会 / 一般社団法人 三沢青年会議所 / 東奥日報社 東奥日報文化財団 / デーリー東北新聞社 / 陸奥新報社 / コミュニティラジオ局BeFM 首都圏宣伝：ポスター・ハリス・カンパニー 協力：パロン・プロ / 株式会社ヒーローズ / エ☆ミリー吉元 / 株式会社ほほ日

お問い合わせ **三沢市寺山修司記念館** tel.0176-59-3434 青森県三沢市大字三沢字淋代平116-2955 <http://www.terayamaworld.com/museum>

